

会 議 名	第2回港区ホームページリニューアル業務委託事業候補者選考委員会	
開 催 日 時	令和6年2月16日（金曜日）午後6時から午後7時まで	
開 催 場 所	区役所9階915会議室及びオンライン会議（Teams）	
委 員	（出席者）5名 川上委員長、大澤副委員長、松永委員（オンライン）、高山委員、菊池委員 （欠席者）なし	
事 務 局	区長室長、デジタル改革担当課長、広報係長、広報戦略担当係長、広報係員	
会 議 次 第	1 開会 2 第1回選考委員会議事録概要について 3 第一次選考結果について 4 第二次選考について 5 閉会	
配 付 資 料	<p>[配布資料]</p> <p>資料1 第1回港区ホームページリニューアル業務委託事業候補者選考委員会会議議事録(案)</p> <p>資料2 港区ホームページリニューアル業務委託事業候補者選考一次審査集計結果</p> <p>資料3 第3回選考委員会進行スケジュール（案）</p> <p>資料4 デモンストレーション課題</p> <p>資料5 第二次審査採点基準表（案）</p> <p>資料6 第二次審査質問項目（案）</p> <p>参考資料1 港区ホームページリニューアル業務委託事業候補者募集要項（各様式を含む。）</p> <p>参考資料2 港区ホームページリニューアル業務委託事業候補者選考基準</p> <p>参考資料3 仕様書（案）</p>	
会議要旨		
委員長	1 開会 2 第1回選考委員会議事録概要について （事務局より資料1について説明） 3 第一次選考結果について （事務局より資料2について説明） 各委員は審査にあたり評価した部分と気になった部分の講評をお願いいたします。	
A委員	直観的に理解できる視覚的表現を重視したデザインのコンセプトはよいと感じました。区の特徴を分かりやすく伝えるコンテンツなどは、区を知ってもらおうという意味では有効であると思いい期待したい部分です。またプロジェクトの進め方については、ユーザーの声を聞いて、アジャイル型でよくしていく姿勢は評価できますが、具体性に欠ける部分が少し	

B委員	<p>あると感じました。また、新たな提案や、リニューアルに対する期待感の部分の力強さが少し足りないというところがありました。</p> <p>財務諸表を確認し、特に安全性に問題があるような数字はありませんでした。比較的わかりやすく、事前の分析をされてると感じました。目新しい提案はありませんが、運用保守の部分や作業スケジュール、体制を見ても、無難にやってくれるのではないかと感じました。</p>
C委員	<p>プロジェクトの管理方法については、現実的な進め方ではないかと考えます。運用保守体制については、複数拠点に担当者がいるため災害時にも別拠点の担当者が対応できるということで評価を高くしています。データ移行については、単純なデータ移行ではなく、ページ削減案やリライト提案があった部分がよかったと感じています。一方で、検索についてはAI検索の提案になっていますが、日付やカテゴリーの検索とでは検索結果が変わってくるためその点がどうかと思いました。サイトのレイアウトの提案が、行き過ぎたスマートフォンファーストのレイアウトになっており、パソコンでは見にくい部分もあると感じ評価は落としています。</p>
D委員	<p>今回のリニューアルで抜本的に見直しをしていきたいという前提の中で、提案の内容に具体性と積極性が感じられず、現状維持という提案もあり、期待値としてもう1歩踏み込んだ提案が欲しかったと感じています。</p>
E委員	<p>安定志向の提案だと感じました。スマートフォンファーストや外国人対応は当たり前のことですし、港区らしさのチャレンジがなく、具体性に欠けている部分があると感じました。逆に言うと、安定というところで、業務をお願いしても大変なことになるという不安は感じない印象を受けました。どの自治体にもこれをベースにした提案をしていると感じましたし、それについてやむを得ない部分もあるし、もう少しチャレンジして頂いてもよかったのではという部分もあります。追加提案については、動画チャンネルなど、これからの時代に必要なものについての提案もしており、安定的な提案だと感じました。</p>
B委員	<p>各委員の講評が終わりました。</p> <p>次に、第一次審査集計結果の採点について、委員によって評価に差がある項目について意見交換をしたいと思います。</p> <p>まずは、項番2(2)ア 基本的な考え方やサイト構成の採点について意見交換していただきます。</p>
D委員	<p>比較的分かりやすいと感じました。他の自治体における経験等も踏まえて作られてると感じました。</p>
D委員	<p>企画提案書には、区が仕様書で提示した課題が淡々と述べているだけに感じました。サイトの設計に対する基本的な考え方について理解はして</p>

A委員	いるように見受けられましたが、特徴的な提案がないと感じました。
C委員	特出した部分はないと感じました。
委員長	先ほどD委員がおっしゃっていたことと同じで、理解はされているというぐらいで評価しました。
D委員	項番2(2)イ オンラインサービスへの導線についてはいかがでしょうか 区のホームページには電子申請以外にもオンラインサービスが複数あり、それを導けるサイト設計が理想ですが、この提案で対応できるのか不安に感じました。
E委員	他の自治体の事例もあり、うまくこなすことを期待して評価しました。
B委員	分かりやすく企画されていると感じました。
C委員	手続きナビのトップページのイメージをみても、分かりやすくカテゴリごとに配置されていることもあり、手続きナビでどの程度表現できるのか少し疑問はありますが可能ではないかと考えました。
委員長	項番2(2)ウ 緊急時・災害時の対応についてはいかがでしょうか
C委員	緊急時に別の拠点にも担当者がおり、システムの的にも別の環境からアクセスできるようになっているのは良いと感じています。
D委員	現状の港区の機能と同じであり、他自治体のホームページでも行ってる機能で、特別優れている感じはしませんでした。
A委員	この程度のリスクヘッジをするのは前提と考えています。
委員長	項番2(2)カ 特設サイトの採点についてはいかがでしょうか
D委員	学習意欲を促進するサイトにするには具体的な提案が足りないと感じました。デザイン案とコインが貯まる仕掛けだけでは内容が薄いという印象を受けました。
C委員	コインが貯まったり、隠れキャラが表示される等、使ってもらう仕組みは提案されていると思います。内容はよくわかりませんでした。これから検討していくものなのかと思いました。仕組みは良いと感じています。
B委員	コインを貯める仕掛けはあまり見たことがなく、面白いと感じました。
委員長	項番2(3)イ 検索機能の採点についてはいかがでしょうか
D委員	検索エンジンの精度に不安があります。また、カテゴリーでの絞り込みや更新日を指定した検索ができない点が気になります。
C委員	検索のカテゴリーの検索と並び替えができず、AI検索の結果と求めている検索結果とは異なってくるのではと感じています。
B委員	実際どのぐらい検索がうまくできるのかは不明な部分もありますが、それなりに対応できるのではと提案書から読み取りました。
委員長	標準的な検索をできるような機能は備わっていると感じましたが、それでは足りない部分というのを各委員が感じられたのかと思いました。続いて、項番2(4)ア プロジェクト管理の採点についてはいかがで

	しょうか
B委員	ウォーターフォールとアジャイルのハイブリッドの説明はわかりやすく、港区のスケジュールを考慮しており、プロジェクト体制として比較的しっかりしていると感じました。
D委員	会議体を二つに分け、一見すると丁寧にやっていくように見えますが、職員負担が多くなるのではないかと感じています。
A委員	自治体でのホームページ作成経験者が管理されるということですが、実際苦勞する部分が多いと思われるので、何かもう一歩提案があるとよかったですと感じています。
委員長	項番2(4)イ データ移行の採点についてはいかがでしょうか
B委員	そのままデータ移行するのではなく、見直し、削減していく提案が出ていた所に納得感がありました。
C委員	単純なデータ移行ではなく、移行の内容と対象を仕分けていくことや、リライトの提案があるのがよいと感じました。
D委員	不要ページの見直しやリライトは期待ができますが、我々が求めているレベル感でできるのか懸念があったためこのように評価しました。
A委員	やろうとしていることは書いてありますが、具体性が少し見えてこない部分がありました。
委員長	項番2(5)ア 運用保守採点についてはいかがでしょうか
B委員	常駐とリモートのハイブリッド運用等、安定的に運用できる体制が考慮されていると感じました。
C委員	安定的に運用ができると感じました。
D委員	緊急時の体制は評価できますが、毎日更新されていくページについて、区民にどう伝わるのかの具体策が見えないと感じました。
A委員	悪くはないのですが、具体的な内容がみえませんでした。
委員長	項番2(6)イ 追加提案の採点についてはいかがでしょうか
D委員	もう少し今の港区のホームページの課題の解決に結びつく具体的な提案がほしかったです。
E委員	動画チャンネルはこれからスマートフォンファーストの時代ということを考えても、必須の部分だと考えています。追加提案として、動画チャンネルを持ち出してきたところを評価しました。
B委員	周りを見ても、動画をみるという人が多くいます。文章よりも動画というところで、よりわかりやすくなると感じました。また、年間2本程度は事業者が作成するという点もよいと感じました。
委員長	意見が分かれている部分について、各委員から意見をいただきましたが、その他ご意見はありますか？
各委員	意見なし
事務局	集計の結果、合計点は1096点となり得点率は64.5%となりました。

委員長	選考基準で定めた得点率60%の1020点を上回っているため、A事業者は第二次審査に進むこととしてよろしいでしょうか。
各委員	異議なし
D委員	4 第二次選考について (事務局より資料3～6について説明) ヒアリングの配分時間を少し長くとした方が良いと考えます。プレゼンテーションとデモンストレーションを15分、ヒアリングの時間を少し延ばし25分とるのはいかがでしょうか
各委員	異議なし
委員長	それでは、第二次審査について、事業者からのプレゼンテーションとデモンストレーションを15分、ヒアリングの時間を25分とします。
	5 閉会